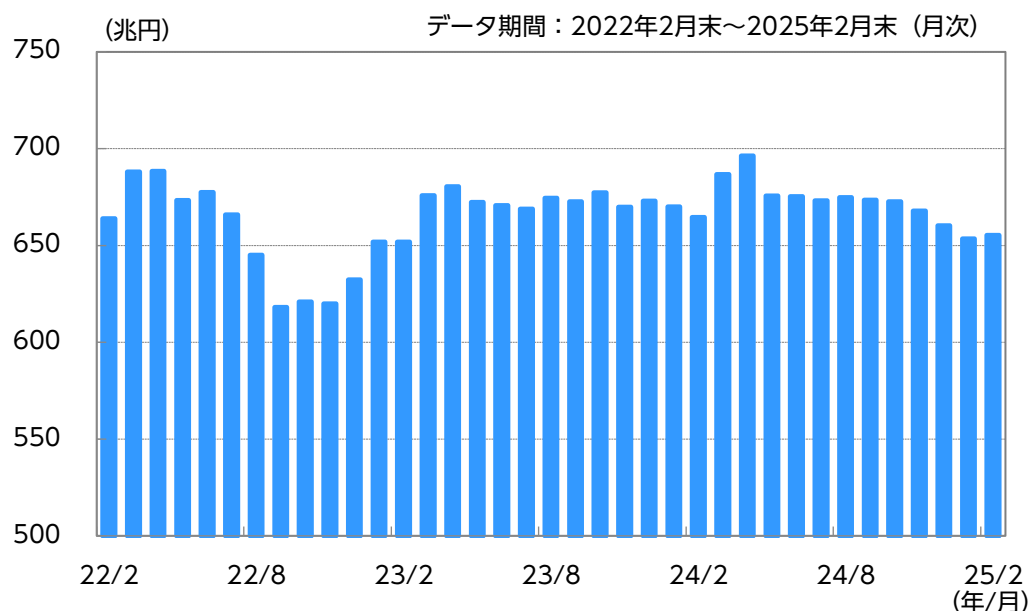




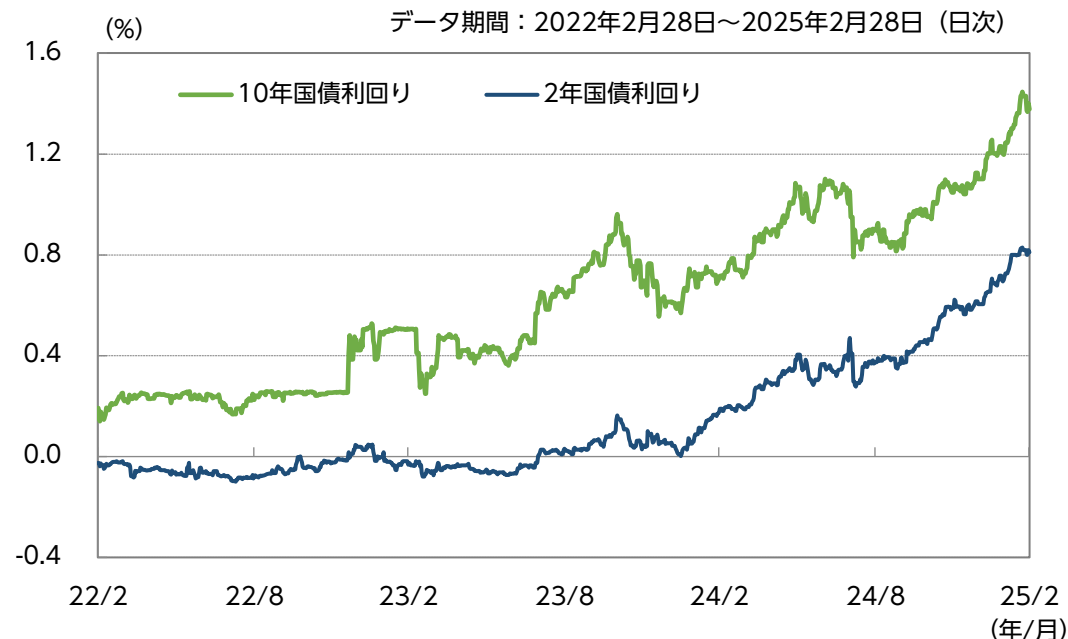
- 日銀の植田総裁は2月21日の衆院予算委員会での答弁で、金利上昇をけん制しました。
- 足もとの金利上昇ペースはやや急であり、日銀からのけん制が見られたことや2025年前半には物価上昇率のピークアウトを見込むことなどから、引き続き1%台前半を中心とした長期金利の推移を想定します。

【日銀のマネタリーベースの推移】



マネタリーベース：流通現金（「日本銀行券発行高」＋「貨幣流通高」）と日本銀行当座預金（日銀当座預金）の合計値
出所）ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

【国内債券利回り】



ご留意いただきたい事項 ●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものです。●投資信託は値動きのある資産を投資対象としており、基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割込むおそれがあります。ファンドによって投資対象資産や投資規制、投資対象国などが異なるため、リスクの内容や性質が異なります。また、投資信託のお申込時、保有期間中、およびご換金時には費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料に記載されている各指数、統計資料等の著作権・知的財産権その他一切の権利は、各算出先、公表元に帰属します。●当資料に記載されている内容は作成日現在のものであり、今後予告なく変更される場合があります。なお、各種データは過去に遡って改訂されることがあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身でご判断ください。●当資料のグラフ・数値等は過去の実績であり、将来の市場環境の変動や投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。